

7.3 年間の事業計画

	活動内容	対象	目標
21 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報活動としてチラシの作成、ウェブサイトの充実、HP や SNS での周知、関係者の口コミを実践。 ● 事前準備としてポイントカード・エピソードタグの作成。 ● 月 2 回の頻度で定期的に mono の回収・清掃・整理を行う。 ● モノクルイベント時のブース装飾イベント運営。 ● 「エコ・キャンドルナイト」の実施と共に、協力関係者への定期的なプレゼン・経過報告 ● 「循環型社会の実現を考える講演会」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全市民（主に 20 代を中心とした男女） ● 全市民（主に中央区・早良区） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 物々交換イベント「モノクル」の運営基本システム（mono の回収、広報、当日のイベント運営、ポイント発行など）を構築する。 ● 250 名の参加 ● 500 個の mono・π の流通 ● 地域・学生フリーペーパー、タブロイド誌への掲載、コミュニティラジオへの露出 ● 協力関係団体を 3 つ持つ
22 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ● 一年目のノウハウを生かし、「モノクル」の安定した継続的な実施、参加者のニーズに合わせたシステム作り。 ● mono と service の交換も行い、π を 1 点使うことでネイルやパッチワークなどのサービスを受けられるようなブースを設置する。 ● 「エコ・キャンドルナイト」の実施と共に、協力関係者への定期的なプレゼン・経過報告 ● 「地域通貨の流通と NPO バンクの活性化を考える講演会」の実施 ● 「モノクル」の活動紹介用小冊子の製作 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全市民（前年度に加え 10 代男女へのアプローチも行う） ● 全市民（前年度に加え南区・博多区・東区・城南区・西区への拡大を目指す） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 客層・活動エリアの拡大 ● 市内に 1 箇所、常設の回収拠点を設置 ● mono と service 交換の実現 ● 500 名の参加 ● 1000 個の mono・π の流通 ● リピーターを増やす ● 新聞への掲載 ● 協力関係団体を 6 つ持つ

<p>23 年 度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●二年目までに構築したシステム・収集したデータなどからフィードバックし、より参加者と地域の利益となる「モノクル」の在り方を模索・実践する。 ●mono・service と food の交換も行き、フードバンク的な役割を持つブースの設置をする。 ●「モノクル」運営に対しネットワークシステムの導入強化により、mono と π の管理を一元化・電子化し、厳正で適切な実施を行う。 ●環境イベントを行っている団体や地元のフリーマーケットに参加している団体へのアプローチを行い、共通ポイントを用いた物々交換イベントの二次的な拡大開催を働きかける。 ●「エコ・キャンドルナイト」の実施と共に、協力関係者への定期的なプレゼン・経過報告 ●「貨幣経済を考える講演会」の実施 ●「循環型社会実現に向けて」自費出版ブックレットの製作。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全市民（前年度に加え 3,40 代男女へのアプローチも行う） ●全市民（前年度に加え、春日市・那珂川町・糸島郡への拡大を目指す） 	<ul style="list-style-type: none"> ●一年目のノウハウを生かし、mono-club の継続的な実施 ●市内に 3 箇所、常設の回収拠点を設置 ●mono・service と food の交換の実現 ●年間を通して 1000 名の参加 ●2000 個の mono の流通 ●主要スタッフの拡大 ●TV メディアへの露出 ●協力関係団体を 10 つ持つ ●通常、事業の拡大に伴い新システムの導入費用とランニングコストは膨れがちだが、本事業においては関連団体との物々交換（技術サービス含む）協力で行い、事業規模対経費の圧縮を目指す。
-----------------------	--	--	---